

## 2023年度 新商品・新技術研究開発事業

### 【既存製品改良】 募集要項

一般財団法人 自転車産業振興協会

#### 1. 事業目的

当協会は、日本で唯一の自転車専門の技術研究所を有し、自転車関係の ISO・JIS 制定を主導するなど、従来から我が国自転車製造基盤の維持・強化において中心的な役割を担ってきている。

2022 年度から中小自転車企業の生産性向上を図ることを目的に、その既存製品の改良経費を支援し、中小自転車産業の持続的発展を図っている。

#### 2. テーマ

自転車・自転車部品の製品改良

#### 3. 対象

日本国内に本社を置く、中小自転車企業で下記①～②の要件を満たすこと

- ① 法人格を有する
- ② 本事業の試作品を中間報告及び開発品を最終報告時に提示可能

(注1) 申請は毎年可能。1企業あたり1件とする。

(注2) 本事業の助成金を受け取った企業は翌年度申請不可。

(注3) 国・地方自治体、他の団体などに対し補助金・助成金を申請する場合は対象外とする。

#### 4. 期間

対象期間は、助成金内定通知書の交付日(2023 年 5 月予定)～2024 年 2 月末日とする。

#### 5. 助成

##### ① 助成対象事業費

助成対象事業費は以下のA～Fとする。

- A. 設計・デザイン費
- B. 金型等製作費
- C. 試作費
- D. 組立製造費
- E. 試験費
- F. 特許・実用新案等関係費

## ② 助成率・限度額

A～Fの助成対象事業費について、助成率 1/2、または助成限度額 200 万円のうち、いずれか低い金額を助成する。但し、審査の結果によっては助成率、または助成限度額を変更することで、いずれも下回ることがある。

## ③ 対象経費

助成対象事業費のうち、2023 年 5 月通知予定の助成金内定通知書の交付日から 2024 年 2 月末日までに支払った経費が対象となる。

(注)社内労務費及び海外企業への委託費は助成対象とならない。

## 6. 改良の要件

下記①～⑤の要件を満たすものとする。

### ① 改良の妥当性

- 旧来の製品と比べて性能面の向上(機能性・操作性・駆動性など)がみられるか
- 他社類似製品との相違点が明確であるか

### ② 製品の安全性

- ISO・JIS 規格への整合、利用者への使用安全性への配慮がみられるか
- 構造及び組立に不備(溶接不良・強度不足など)はないか

### ③ 生産計画の妥当性

- 計画は実現可能性のあるものか
- 生産における十分な設備、または委託先との適切な関係を保有しているか

### ④ 開発比率の評価

- 開発における自社と外部委託比率の妥当性

### ⑤ 販売計画の妥当性

- 計画は実現可能性のあるものか
- 製造原価と販売価格の妥当性

## 7. 申請方法及び受付期間

事業計画書(既-様式1)に必要事項を記載の上、以下の受付期間内にメールにて送信すること。  
なお、提出された事業計画書(既-様式1)等申請書類は返却しない。

受付期間:2023 年 3 月 1 日(水)～4 月 10 日(月)

## 8. 選考方法

- ① 事務局による申請書類要件確認(上記6. ①～⑤において追加資料をお願いする場合があります)
- ② 第1回委員会による書面審議
- ③ 第2回委員会において申請者によるプレゼンテーションの内容、事業計画書(既-様式1)の内容を点数化し審査する。

### ○審査における注意点

- 審査は本要項「6. 改良の要件①～⑤」を基にして実施する。
- 改良を実施するにあたり、外部委託の大半が1企業となっている場合は選考から漏れる場合がある。
- 書面審議のため第1回委員会開催前に申請書類等を委員宛にメールまたは郵送する。

## 9. 結果通知

第2回委員会終了後、審査結果を申請者に通知する。内定者が決定したら、助成金内定通知書及び事務処理要領を交付する。

## 10. 委員会での報告

第2回委員会での審査後、委員会を2回開催し、内定者からの報告を受けるとともに、委員からの意見を内定者にフィードバックする。

委員会は以下の通り実施する。

委員会	開催時期(予定)	内容
第1回	2023年4月	書面審議
第2回	2023年5月	審査及び内定者(案)
第3回	2023年11月	中間報告(試作品提示)
第4回	2024年3月	最終報告(開発品提示)

### ○委員会での報告における注意点

- 事業完了の見込みがない、または成果が期待できないことが判明した際には、助成金の支払いを取り止める場合がある。
- 中間報告で試作品、最終報告では開発品を必ず提示すること。

## 11. 知的財産権の取り扱い

- ① 本事業開発品の特許権及び実用新案権等の知的財産権は申請者に帰属する
- ② 知的財産権に係る紛争に当協会は関与しない
- ③ 知的財産権については事前に手続きを済ませること
- ④ 委員及び事務局に知的財産権は発生しない

## 12. 会計調査

当協会は本事業について任意に会計調査を行うことがある。

## 13. 問い合わせ先

(一財)自転車産業振興協会 事業部

・TEL: 03-6409-6921 ・FAX: 03-6409-6868 ・Mail: [project@jbpi.or.jp](mailto:project@jbpi.or.jp)

## 2023 年度 新商品・新技術研究開発

## 事業計画書 (記入例)

## 1. 応募要件チェックフォーム

「応募要件」5項目のうち、1つでも☑が入らない場合は、本事業の対象に該当しません。

①本社が日本国内にある	<input checked="" type="checkbox"/>
②法人格を有する中小自転車企業である ※中小企業者の定義(中小企業庁出典):資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人	<input checked="" type="checkbox"/>
③中間報告(2023年11月頃)で試作品・最終報告(2024年3月頃)で開発品の提示ができる	<input checked="" type="checkbox"/>
④当事業計画書は「新商品・新技術研究開発委員会」の審議で使用されるほか、企画内容については当協会ホームページに掲載されること、また掲載の時点で「公知のもの」となることに同意する	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤本事業の開発品に関する知的財産権等に係る問題が生じた場合、申請者が責任を持って対応することに同意する	<input checked="" type="checkbox"/>

(注)上記①～⑤全てに☑できない場合、申請することができません。

## 2. 応募者の概要

法人格を明記

名称(商号または屋号)	一般財団法人 自転車産業振興協会										
名称(フリガナ)	イチザイ) ジテンシャサンギョウシンコウキョウカイ										
法人代表者役職	代表取締役										
法人代表者名	自転車 一郎										
担当者名と役職	氏名	自転車 二郎	役職	係長							
担当者のメールアドレス	〇〇〇〇@〇〇.or.jp										
郵便番号	1	4	1	0	0	2	1				
本社所在地	東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階										
電話番号	03-6409-6921		FAX番号	03-6409-6868							
ホームページURL	http://www.jbpi.or.jp/										
資本金・出資金	100万円		従業員数	100人							
主要製造品目	自転車用サスペンションシステム										
創業・設立日(西暦)	1	9	5	0	年	0	1	月	0	1	日

(注)「応募者の概要」に記入された内容が審査に影響することはありません

### 3. 事業計画の概要

申請する品名	電動調整サスペンションシステム											
型式	SUSP2022-JBPI											
事業予算(円)	1,033,480 円 <span style="float: right;">2024年2月末日までの完了が条件</span>											
事業完了予定日	2024年1月15日											
知的財産権(特許等)	名称	電動コイル調整システム 001										
	特許出願中(予定)	2	0	2	3	年	0	5	月	0	1	日
	特許取得済					年			月			日

出願中の場合、取得予定日を記入

### 4. 事業計画の詳細

①コンセプト	走行路の状況に応じて、手元の電動スイッチでサスペンションのストロークを調整することができる。サスペンションの硬さは10段階で調整が可能。										
②改良のポイント	従来品は手でサスペンションのストローク調整を行っていたが、改良品は手元の電動スイッチを使って親指1本で簡単に調整が可能。 また新型油圧可変モーターを採用することで、ライダーにストレスなくタイムレスでストローク量の調整が可能。										
③安全性のポイント	・ISO/XXXX 及び JIS/XXXX に適合予定 (20XX年10月頃、日本車両検査協会東京検査所で試験実施予定) ・弊社テストライダーによる一般道での合計 XXXkm以上の検証試験を実施予定 ・今回導入するセンサー(XXXX型)はすでに欧米メーカーでは広く採用されており、市場に広く浸透している。これまで特段のリコールや製品事故等の報告はない。										
④ターゲットユーザー	・サスペンションの調整に不慣れな初心者ユーザー。 ・サスペンションの細かい調整を要望する中級～上級ユーザー。またレース等に出場するホビーユーザーと幅広いターゲットを想定している。										
⑤想定される利用シーン	路面状況が多様に変化する MTB コースでの走行										
⑥想定される市場規模	全国の油圧サスペンション推定販売数 XXXX を対象に、単価 XXXX 円 × 年間推定販売量 XXXX 本 = XXXXX 円(年間)を想定している。										
⑦販売予定時期	20XX年5月頃を予定										
⑧想定製造原価と予定販売価格(円)	想定製造原価	5,780 円									
	予定販売価格	17,900 円									
⑨年間予定生産数	300 本										
⑩年間目標販売数	170 本										
⑪開発の内外比率	自社実施				外部委託				助成金申請対象項目に☑して下さい		
A 設計・デザイン	10				0				<input type="checkbox"/>		
B 金型製作	0				10				<input checked="" type="checkbox"/>		

簡潔にわかりやすく記入

自社実施と外部委託の比率合計が、【10】になるよう数値を記入。また助成対象項目でない場合も、比率を記入。

募集要項、5. ①助成対象事業費、A～Fの項目から該当する項目について全て記入。

C	試作	5	5	<input checked="" type="checkbox"/>
D	組立製造	10	0	<input type="checkbox"/>
E	試験	0	10	<input checked="" type="checkbox"/>
F	特許・実用新案登録			<input type="checkbox"/>
⑫企画書 (別途提出)		<p>下記 A~D の要件を満たす企画書を別途作成・提出すること</p> <p>A. 企画書は「パワーポイント形式」で作成</p> <p>B. 募集要項「6. 改良の要件 ①~⑤」を満たしていることを明記する</p> <p>C. 開発品の特徴、諸元(寸法、素材等)を明記する</p> <p>D. 完成予想図を明記する</p>		

(注1) 上記項目について、必要に応じて図表や写真等(別途提出可)を用いて具体的かつ詳細に記入してください。

(注2) 上記「⑪開発の内外比率」について、自社実施と外部委託の合計比率が10になるよう数値を記入してください。

当てはまらない箇所は未記入で構いません。

(注3) 上記「⑫企画書」について、ワード・エクセル・その他形式での提出は不可とします。

## 5. 収支予算書

### (1) 収入の部

費目	予算額(円)	摘要
助成金	516,740 円	助成額は(2)支出の部合計額の1/2、または限度額200万円のいずれか低い金額。
自己負担金	516,740 円	
合計	1,033,480 円	

各項目の詳細を記入

### (2) 支出の部

項目	節	予算額	概要	見積書
金型等製作費	金型等製作費	300,000 円	インナーチューブ(XXX 金属製作所)	<input checked="" type="checkbox"/>
金型等製作費	金型等製作費	350,000 円	アウターチューブ(XXX 加工産業)	<input checked="" type="checkbox"/>
金型等製作費	金型等製作費	260,000 円	シングルクラウン(XXX 加工産業)	<input checked="" type="checkbox"/>
試作費	機材購入	3,480 円	オイルシール(東京 XXXX)	<input checked="" type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
募集要項、5. ①助成対象事業費、A~Fの項目から該当する項目を選択して記入。				

試験	疲労強度試験	120,000 円	JISXXX 適合検査（日本車両検査協会）	<input checked="" type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
合 計		1,033,480 円		

見積書の提出は必須。必ず添付して☑を入れる。

(注1) 上記に記入する助成対象事業費の各項目について、見積書を添付してください。

(注2) 特許・実用新案関係費について、申請手を自ら行う場合は申請料等に係る経費明細を添付してください。

## 6. 予算執行計画書(2023年5月～2024年2月)

年 月	項 目		節	予算額(円)
2023年5月				
6月	金型等製作費		金型等製作費 (インナー・アウター)	650,000 円
7月	金型等製作費		金型等製作費 (シングルクラウン)	260,000 円
8月				
9月				
10月				
11月	試作		機材購入	3,480 円
12月	試験		疲労強度試験	120,000 円
2024年1月				
2月				
			合 計	1,033,480 円

## 7. 開発スケジュール

年/月 作業項目	2023年									2024年	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
設計・デザイン		○-▽									
金型製作			○-----▽								
試作					○-----▽						
組立製造						○-----▽					
試験(自社検証)								○-----▽			
試験(外部検証)								○-----▽			
特許・実用新案登録											

1ヶ月を3分割し、スケジュールの起点を○、終点を▽とする。また起点と終点は点線で結んで表示。  
開発に係る全てのスケジュールを記入。